

年間指導計画 第2学年 道徳科

学期	学習計画 (全35時間)	目標
前期	自分でオッケー こうえんの花 うれしい気持ち 金のおの くまくんのたからもの かむかむメニュー こうえんの見はりばん 「三くみ大すき」 わすれられないえがお たんじょう日 森のともだち アオギリさんがんばって おもいでいっぱいなのつ休み おいたてられた二ひきのカエル 「あいさつ」っていいな だっておにいちゃんだもん きいろいベンチ	学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 内容 1 主として自分自身に関する事。 (1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがまをしないで、規則正しい生活をする。 (2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。 (3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 (4) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。 2 主として他の人とのかかわりに関すること。 (1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。 (2) 身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。 (3) 友達と仲よくし、助け合う。 (4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。
後期	さるへいと立てふだ ともだちだものね 町のひみつわかったよ 学びゅうえんのさつまいも かいもの おれたものさし 六つのとんがりのある校しょう 七つのほし ゆきひょうのライナ おばあちゃんのお手玉 おとうさんは、なおし名人 かくしたボール ぼくらが大きくなったらね ぼくは「のび太」でした ガラスの中のお月さま ぼく じぶんがしんごうきに かっぱわくわく	3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。 (1) 生きることを喜び、生命を大切にすることをもち。 (2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。 (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。 (1) みんなが使う物を大切に、約束やきまりを守る。 (2) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。 (3) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。 (4) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。

評価について

- ・道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。授業中の児童の発言、生活の様子日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- ・道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て行います。また、全体の評価と個人評価に努めています。

保護者の方へ

- ・副読本や「心のノート」などを資料として授業を進めていきます。
- ・具体例をもとにして、子どもたちがどのような考え方・感じ方をして生活しているかを考え、話し合います。ご家庭でも子どもたちが道徳で学習したことについて話し合ってみてください。